

研究発表大会 プログラム

2017年5月13日 国際P2M学会 2017年度 春季研究発表大会 「医療とプロジェクト・プログラム・マネジメント」 ～チーム医療による医療サービスの向上とプロジェクト・プログラム・マネジメントの役割期待～				
会場	A会場	B会場	C会場	2階 多目的室4号
	5階 501	5階 508	5階 509	
研究発表	P2M関連と自由論題トラック	P2M関連と自由論題トラック	P2M関連と自由論題トラック	
座長	新井 信明、長田 基幸	加藤 智之、濱田 佑希	田隈 広紀、清田 守	
9:30-10:00	A-1: 山本由美, 山本秀男: P2Mプラットフォームマネジメントへの考察～治験の現場から～	B-1: 加藤智之, 越島一郎: 製品イノベーションのためのP2M-3Sモデルを通じた製品イノベーションマネジメントのためのフレームワーク	C-1: 笹尾隆二郎: P2M手法に基づいた効果的なODAプロジェクトの実施方法の考察	
10:00-10:30	A-2: 市川学, 石峯康浩, 近藤祐史, 出口弘, 金谷泰宏: 災害時における保健医療支援活動とP2M	B-2: 加藤勇夫, 越島一郎: 企業ビジョン革新のためのスーパー・プログラム構造	C-2: 税所哲郎: ASEANの物流システムにおけるプロジェクト・マネジメントに関する一考察	
10:30-11:00	A-3: 三宅由美子, 上村隆幸, 内平直志: 中小企業の人材育成を考慮したPBL活動とその効果 - 訪問看護ステーション支援プログラムの強化-	B-3: 濱田佑希, 越島一郎, 渡辺研司: 不確実環境下におけるプログラムミッション遂行のための動的状況マネジメントに関する研究	C-3: 田中裕子, 久保裕史: 人工知能を活用した業務自動化におけるP2M理論の適用 プログラム統合マネジメントを用いたステークホルダーの説得	
11:00-11:30	A-4: 岩崎祐子, 渡辺研司: プロジェクトにおけるリスクアペタイトによるマネジメントフレームワークに関する考察	B-4: 岡崎昭仁, 川治孝之, 三宅博: 企業R&Dにおける機能集約型開発組織の実践事例と考察 第2報: プログラムマネージャーの役割と組織学習機能の視点	C-4: 楓森博, 越島一郎: 社会的価値実現のための構造に関する基礎的考察	
11:30-12:00	A-5: 岩崎祐子, 渡辺研司: P2Mフレームワークから見た地方創生プロジェクトの課題			<11:50～ 12:20> 理事会・ 評議員会
12:00-13:00	昼休み			
13:00-13:10	【会場: 1階 国際会議室】 学会会長挨拶 小原重信			
13:10-13:40	【会場: 1階 国際会議室】 年次総会			
13:40-13:45	休憩 (会場準備)			
13:45-14:45	【会場: 1階 国際会議室】 基調講演 講師: 小茂田昌代氏 (東京理科大学薬学部薬学科教授) 演題: 最適な処方につながるアカデミック・ディテリングとは 司会: 大会実行委員長 山根里香			
14:45-15:00	休憩 (会場準備)			
15:00-16:40	【会場: 1階 国際会議室】 パネル討論 テーマ: 「真のチーム医療実現にむけたプロジェクト・プログラム・マネジメントへの役割期待」 モデレーター: 山根里香氏 東京理科大学経営学部経営学科准教授 パネリスト: (発表順、小茂田氏以外のパネリストによる報告もあります。) 山本美智子氏 (昭和薬科大学 臨床薬学教育研究センター長 医薬品情報部門教授) 齊藤光江氏 (順天堂大学医学部附属順天堂医院 乳腺科教授) 浅田孝幸氏 (立命館大学経営学部特任教授 大阪大学名誉教授) 小茂田昌代氏 (基調講演者)			
16:40-17:20	休憩 移動時間			
17:20-19:30	【会場: 百代茶屋田町店】 懇親会 東京都港区芝浦3-4-1 グランパークタワーB1			